

ひろの 議会だより



QRコードを読み込むと議会の情報を見ることができます。



みんなで全力ダッシュ!!
(こども園運動会)

P2 令和元年度決算 新生の年 事業の成果を認定

P9 こんなことが決まりました

P14 8議員が町政を問う(一般質問)

No.147
令和2年10月16日発行
福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

令和元年度決算

新生の年 事業の成果を認定

決算議会 9月定例会



令和2年9月定例会を9月15日から18日まで、4日間の会期で開きました。町長から町政全般についての経過報告が述べられるとともに、一般会計及び特別会計補正予算など、町から提出された19の議案が慎重に審議され、すべて原案のとおり可決しました。

また、9月定例会は決算議会でもあり、令和元年度の一般会計及び6つの特別会計を認定しました。

加えて、「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を採択、「東京電力福島第一原子力発電所事故で発生した放射能汚染水(アルプス処理水)の海洋放出に反対する請願書」を不採択としました。

なお、一般質問では、8人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いました。

令和元年度決算のあらまし

一般会計は約48億6万円、特別会計は、国民健康保険などの6つの会計を合わせて約17億3580万円となり、合計約65億3586万円余の歳出決算となりました。

平成30年度と比べて、約20%減少しています。これに対して、歳入決算は歳出決算を約7億7151万円上回る、約73億737万円となりました。

また、町税及び使用料等の収入未済額は不納欠損処理を行ったこともあり、前年度と比較し、898万円減少し、7660万円となっていますが、収入未済額の縮減は、自主財源の確保及び負担の公平性を保つためにも、滞納の長期化の抑制、滞納者への早期対応など有効かつ効果的な徴収対策を行うなど、町税等収納の向上が求められます。

総括意見

令和元年度の事業については、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、各会計の歳入歳出決算等は正確なものと認め、また、予算の執行についても、改善すべき事項はあったものの、適正かつ効率的に行われていると認められました。

審査のむすび

当町の財政状況は、広野火力発電所の大規模償却資産税への依存度が依然として高い状況にあります。

財政力指数は、令和元年度1.176となり、昨年度に引き続き普通交付税不交付団体となりましたが、国民健康保険や介護保険といった特別会計の医療や介護に対する給付費は、依然として高い水準であり、保健事業や福祉事業等の成果を再検



黒田 代表監査委員

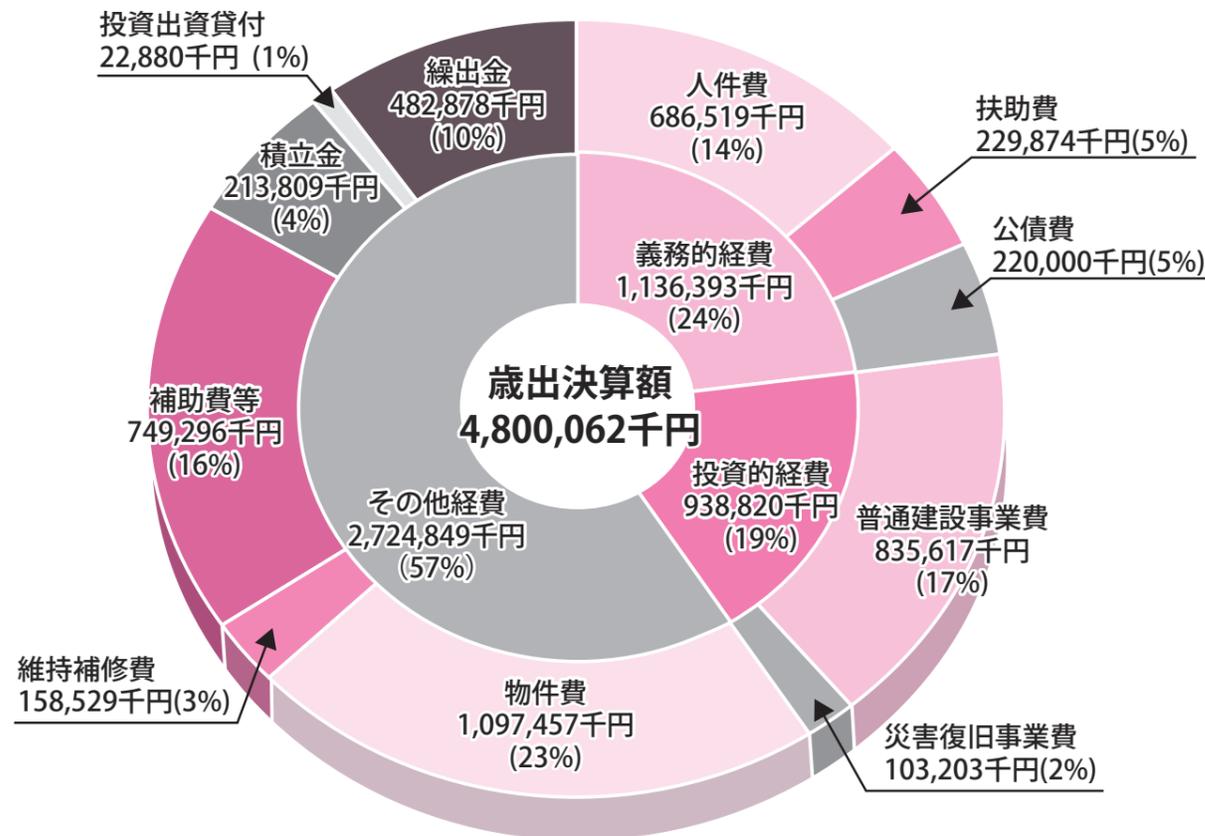
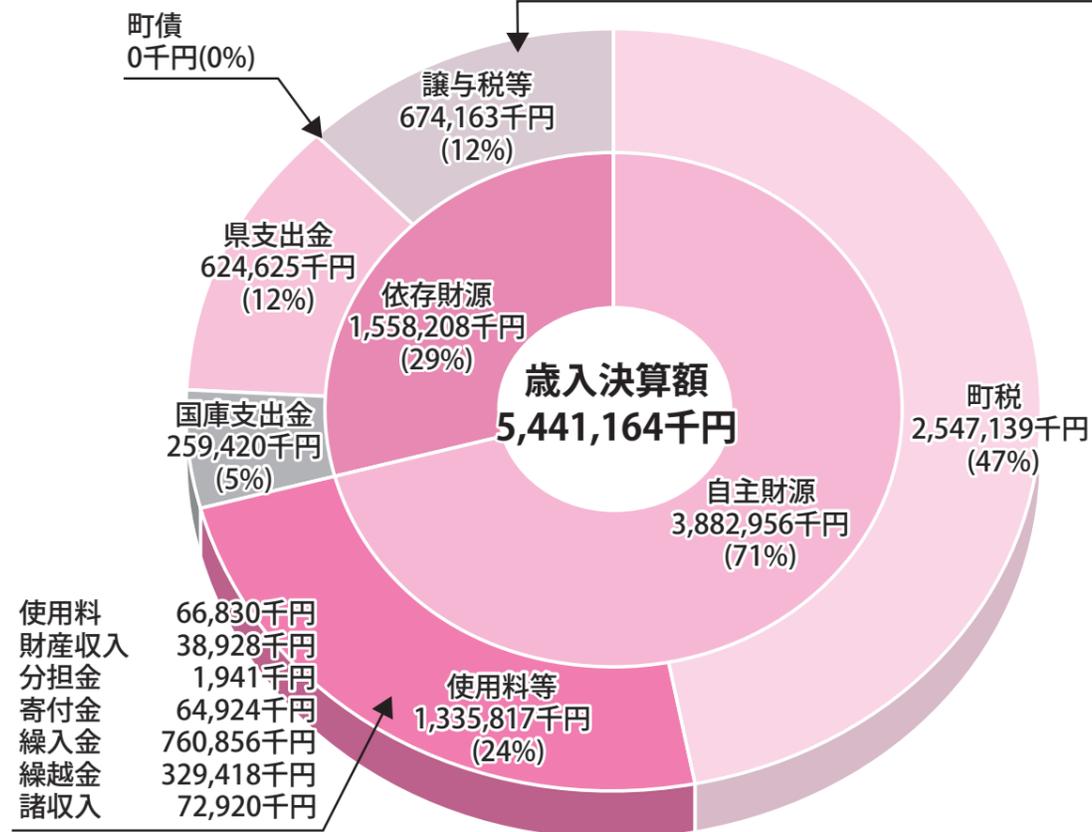
し、転入者から国民健康保険税や介護保険料の徴収事務をしっかりと執行し、健康診査の受診勧奨や医療機関への早期受診による疾病の早期発見、早期治療、適正医療による重症化防止等により、歳出の削減に努めるよう強く望みます。

令和元年度 決算の概要

令和元年度決算

令和元年度決算

地方譲与税	29,896千円	自動車税環境性能割	1,002千円
利子割交付金	524千円	地方特例	11,344千円
地方消費税	88,410千円	地方交付税	535,259千円
自動車取得税	3,196千円	その他	4,532千円



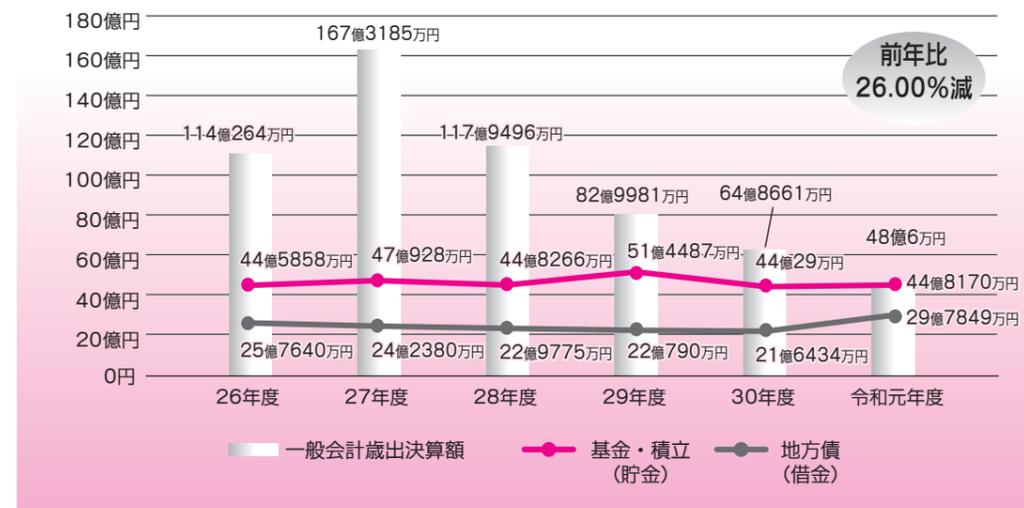
歳入から歳出を引いた額は翌年度繰り越しとなります。

各会計の決算状況

(単位：円)

会計別	予算現額	決算額		歳入歳出 差引額 (形式収支) (A)	翌年度へ 繰り越すべき 財源 (B)	実質収支 (A) - (B)	
		歳入総額	歳出総額				
一般会計	5,489,847,000	5,441,163,878	4,800,061,503	641,102,375	232,706,000	408,396,375	
特別会計	国民健康保険	878,743,000	843,454,925	776,743,199	66,711,726	0	66,711,726
	土地開発事業	175,060,000	175,059,432	173,481,886	1,577,546	0	1,577,546
	公共下水道事業	235,385,000	240,978,007	232,312,602	8,665,405	0	8,665,405
	農業集落排水事業	34,142,000	34,308,518	31,275,210	3,033,308	0	3,033,308
	介護保険	551,968,000	555,198,584	505,208,293	49,990,291	0	49,990,291
	後期高齢者医療	17,654,000	17,214,554	16,783,475	431,079	0	431,079
	小計	1,892,952,000	1,866,214,020	1,735,804,665	130,409,355	0	130,409,355
令和元年度決算額	7,382,799,000	7,307,377,898	6,535,866,168	771,511,730	232,706,000	538,805,730	

一般会計歳出決算・貯金と借金の推移



令和元年度 決算質疑

住民の立場に立った 町政運営と町財政の 健全化を要望

令和元年度一般会計及び6つの特別会計の歳入歳出決算の質疑では、税金などの滞納処分の在り方や町政運営にかかる経費の見直しなど、議員から様々な意見や要望などが提案されました。
その一部を紹介します。

田んぼアートの継続は

門馬巧議員

田んぼアートについては、令和2年度は実施しませんでした。継続すべきではありませんか。

遠藤 環境防災課長

当時の近代農業ゾーンの水田の再開を記念する田んぼアートと位置づけています。経費の削減等に向けて事業の在り方を精査したうえで継続はしないこととなりました。



令和元年度の田んぼアート

テレワーク事業の見直しを

阿部憲一議員

テレワーク事業費は前年度に受注した仕事は何件ありましたか。また、実績の金額の合計はいくらですか。920万円を要して、実績がないのであれば事業を終了するべきではありませんか。

小松復興企画課長

昨年度の実績では、実際に受注には至りませんでした。テレワークに参加している方のパソコンの講習会を行って、約20人ほどが参加しました。コロナ禍の中で非常に有効な事業になるという期待もあり、町としては再度、事業者に受注の努力を促していきます。



火力発電所の煙突

二酸化炭素の調査と公表を

畑中 大子議員

広野町には火力発電所がありますが、公害対策調査委託事業では二酸化炭素の調査はしているのでしょうか。住民の安心のために、今後調査する計画はありますか。

遠藤 環境防災課長

町内の河川やため池の水質検査や、工場排水の水質検査等を行っている調査で、二酸化炭素の計測は行っていません。町独自で二酸化炭素の排出量の計測は難しいものがあるかと思いますが、県に相談をします。回答が得られればお示しします。

免許返納タクシー利用券の継続を

門馬巧議員

高齢者運転免許返納タクシー利用券の利用実績は何人ですか。

遠藤 環境防災課長

平成30年度から開始し、平成30年度が6人、令和元年度が13人、令和2年度は現在4人の方に申請をいただいております。併せて合計23人です。



1枚500円40枚綴り

財務処理は適正か

黒田 政徳 議員

津波被災者等住宅再建支援事業費について、基金があったと思いますが、なぜ基金ではなく一般会計で支出したのですか。

小松 復興企画課長

津波で被災したものと地震で被災したものが、津波で被災したもののについては、基金を充当して実施していますが、地震で被災したものについては町単独の補助ということになります。

広報誌の効果向上を

門馬 巧 議員

町の発行する広報は、文字が小さく、町民が読みにくいと思いますがいかがでしょうか。

林 総務課長

読んでいただけるように文字の大きさも考慮しながら工夫して作成していきます。

緊急通報の利用促進を

門馬 巧 議員

緊急通報システムは高齢者の一人暮らしには心強いと思いますが、現在の利用者数、増減の状況はどのようになっていますか。

遠藤 環境防災課長

令和2年3月末の実績で固定電話の方の利用者が14人、携帯電話の方の利用者が35人になっています。増減については若干利用者は増えている状況です。

税の公平性の確保を

黒田 政徳 議員

町税で1163万円の不能欠損が出ています。税の納付は義務ですので、不公平がないように適切に徴収を行うべきですが、不能欠損となった状況はどのようなものですか。

加賀 町民税務課長

ほとんどが時効の完成ということで、町として納付できないということで不能欠損をしています。

弁護士委託料削減の努力を

阿部 憲一 議員

住宅の退去に係る調停の際の弁護士費用が80万円ほどありますが、調停ならば顧問弁護士に話を聞きながら町が自ら手続きを進めることはできませんか。

林 総務課長

手順や方法が確立された後には、委託をせずに進められるようにしたいと思います。

こんなことが決まりました 基金条例を廃止

平成28年度に特定寄付金を財源として基金を整備し、町民等の医療環境の向上に資する事業として広野町救急患者受入支援事業等補助金に基金を充当してきました。

令和元年度は基金の全額を取り崩し、一般財源を投入して事業を実施しました。

基金の全額を取り崩したことにより基金条例は廃止になりますが、令和2年度も一般財源800万円の予算で広野町救急患者受入支援事業等補助金は継続します。

再度資金を確保できないか

門馬 巧 議員

双葉郡内の近隣町村から搬送されてくる患者の受け入れにも、町の一般財源が使われていることを考えると不公平ではありませんか。基金を創設した際のクラウドファンディングをもつ一度実施することはできませんか。

遠藤 町長

町の取り組みに対してクラウドファンディングの活用は難しいことを確認しています。双葉郡内の医療機関の再開に向けて国や県と協議して取り組んでいきます。

基金の管理は適正に

黒田 政徳 議員

平成29年度の事業費が1326万円に対して基金の取り崩し額は1740万円。

基金は目的をもって使うお金ですが、この差額は何に使ったのですか。

佐藤 健康福祉課長

病院等の請求を3月末までにはいただいたのですが、3月までに基金会計は閉鎖する必要がありますがあり、多めの取り崩しとなってしまいました。

本来であれば、事業額の確定後に基金取り崩し額を精査するべきでしたが、概算での計算を過大な金額で見積もってしまったために取り崩し額が多くなっています。

人事案件

教育委員会委員

教育委員会委員に根本 良政氏を任命することに同意しました。任期は、令和2年10月15日から4年間です。



根本 良政 氏
(上北迫)



緊急通報システム

財産の無償貸与

仮設宿泊施設の無償貸付期間を延長しました。

議案第61号

所在・表示 広野町大字下北迫字大谷地原92番2

木造2階建 2棟

床面積1995・80㎡

貸付期間 令和2年10月1日から

令和3年9月30日まで

相手方 株式会社フタバドリームプロジェクト



ホテルリーブス

意見書を採択

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

提出先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
内閣官房長官
など

提出者 畑中 大子
賛成者 黒田 政徳
賛成者 北郷 伯弘

【内容】

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっています。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需

要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想されます。

広野町議会として、国に対し、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実することなどを確実に実現されるよう、強く要望します。

請願は討論の末 不採択に

東京電力福島第一原子力発電所事故で発生した放射能汚染水（アルプス処理水）の海洋放出に反対する請願書【請願者】DAPPE【紹介議員】畑中 大子
討論の結果、賛成2、反対7で不採択となりました。

9月補正予算

今回の補正は、政府の特別定額給付金事業の対象とならない令和2年4月28日から令和3年4月1日までに誕生する新生児に対し一人当たり10万円を支給するための増額補正予算などが主な内容となりました。これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ7212万円増額され、総額で58億6653万円となりました。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	7212万円	58億6653万円
国民健康保険	4812万円	9億3614万円
土地開発事業	157万円	1億6547万円
公共下水道事業	866万円	2億5685万円
農業集落排水事業	438万円	5359万円
介護保険	5316万円	6億4196万円
後期高齢者医療	225万円	2139万円
合計	1億9026万円	79億4193万円

主な内容

- 広野町新生児子育て応援特別給付金 250万円
- ドライブインシアター WITH花火プロジェクト 550万円
※車に乗って映画と花火を鑑賞
- コンビニ交付サービス構築 1183万円
※マイナンバーカードを利用してコンビニで住民票等を取得できる

普及促進の取り組みを

遠藤浩議員

マイナンバーカードの広野町の現段階の普及率はどうなっていますか。

加賀町民税務課長

交付割合は20%近くになっており、全国平均は超えている状況です。

遠藤浩議員

マイナンバーカードの申請や、マイナポイントを付加する手続きは高齢者の方には難しい印象を受けます。より多くの方々に申請していただき、チャンスや権利を確保できるように取り組みを実施していただきたいと思っています。

加賀町民税務課長

社会福祉協議会を通じて広報や、工業団地の会社への訪問などを実施している自治体もあるようですので、折に触れて広報等していきたいと思っています。

討論

具体的な方針を示す必要がある

阿部憲一

我々は汚染や多重被曝の状況にいますが、国はこれらを海洋放出しようとしていると思います。

近隣市町村は海洋放出には反対で、保管の継続を望む意見が出ています。

それは、汚染水は国の責任で大型タンカーで無人島に運んで保管するなど、国に対して具体的な提案をすることが必要だと思います。

双葉郡で歩調を合わせるべき

黒田 政徳

震災後、双葉郡の町村と議会は、「双葉は一つ」ということで共に活動してきました。確かにアルプス処理水の処分は大きな問題ではありますが、現時点で一番の当事者である双葉町、大熊町がこの件に関してまだ正式な発言をなされていないことを鑑みると、広野町議会が今これを採択することは時期尚早ではないかと思えます。

議員の中でもしっかりと協議をして、今後、議員発議で意見を出すべきであり、今回は不採択とすることが妥当と考えます。

賛成 反対

8月19日（水） 総務文教常任委員会

- 調査件名**
- 広野駅東側開発について
 - JFAアカデミー福島への取り組みについて
 - 旧広野幼稚園舎の活用について

総務文教
広野駅東側開発
「町民から確認」

町から、広野駅構内の跨線橋へのエレベーターの設置について、新型コロナウイルスの影響によりJR東日本で行う設計業務の遅れなどを踏まえて今後の事業の進め方についての協議が続いているとの説明がありました。

また、新たに※AIスマートシティプロジェクト、医薬品開発に係る連携協力についても説明がありました。

いくとのことでした。医薬品開発に係る連携協力については、旧幼稚園舎の一部を活用して生物学、生理学などの専門的な知識を持った先生方と一緒に、子どもたちが実験やワークショップを行えるような拠点を整備できるように、検討を進めていきたいとのことでした。

※AI 人工知能

総務文教
JFAアカデミー福島
アカデミー生の安全確保を

各委員から、アカデミー生の中学校卒業後の進路や、宿泊するサッカー支援センターの修繕やトレーニング機材等について質問がありました。

その他、震災後に男子寮を使用していた環境省や広域圏組合に対しての修繕等の対応要望や、アカデミー生の通学時の交通安全対策の徹底などを要望しました。



サッカー支援センター棟

委員会報告

を報告します

AIスマートシティプロジェクトは、分野横断的なプロジェクトで、3者協定を締結している大和田測量設計（株）と東京大学内ベンチャー企業のアリスマー（株）と協力して、AI技術を活用して迅速なシミュレーションを行える河川のハザードマップの作成を始め、農業、医療の分野まで広げていくことを目標として進めて

総務文教
旧幼稚園舎の活用
芥川賞作品の展示を

委員からは、検討委員会からの提言内容にある、駅東側の町民と駅西側の町民とを繋ぐ新たなコミュニケーションの場としていくことについて、駅西側の商店街等に関連の展示室や駐車場を造るなど具体的な計画はあるか質疑がありました。

また、旧幼稚園については耐震化等の改修を行い、交流施設として整備を進めていくとのことでした。

その他、委員からは、広野町は文化の町ということから、芥川賞の富澤有為男先生や額賀誠志先生の作品等を展示してはどうかとの意見がありました。

委員会

各常任委員会の活動状況

産業厚生
道の駅整備について
規模縮小後の進め方は

（株）東コンサルタントと田中・五社山特定建設工事共同企業体を参考人として出席いただき、土取り工事に係る土質調査が適正に行われたか聞き取りを行いました。参考人からはボーリング調査等について箇所数等は充分であり、このような事案は起こり得ると説明がありました。

各委員からは、今後整備した場合の概算金額3億6200万円の内容及びトイレ、休憩所及び駐車場での道の駅として認定を受けられるのか、二ツ沼直売所の機能拡充などについて質疑がありました。

町からは費用の内容は調整池、排水工、駐車場、植栽、展望エリア、トイレ、休憩所、水道施設、案内看板、二ツ沼拡充とこれに伴う実施設計費などで、道の駅の認定については条件は満たしており、登

産業厚生
農業
林業振興
手厚い補助事業を



道の駅工事現場

各委員からは、玄米に対する全量全袋スクリーニング検査はセシウムだけ対象になっており、ストロンチウムに対しては認識不足ではないか、被災12市町村農業者支援事業は専業農家のみが対象なのか、ほ場整備事業に係る補完工事の時期、AIを活用したスマート農業を進めるべき等の質疑がありました。

町より全袋検査は国の基準に基づき町で実施しているもので、改めてセシウム以外の検査を行う考えはないこと、小規模農家への支援については、広野町農地維持管理補助金により水田等作付けしている方に10a当たり20000円の補助金を交付していること、ほ場整備の補完工事の時期については、秋以降の補完工事に対応するとの県から回答があったこと、スマート農業については導入について検討していくとの説明がありました。

また、林業については、伐期を迎えている木材を販売するための計画はあるのか、福島森林再生事業の間伐時、道を作る際に出た木の販売金は所有者へ渡るか、森林に枯れ木が目立ってきているが把握しているのかとの質疑がありました。

町より森林環境譲与税を活用し調査を実施し、事業を進めていくこと、販売代金は所有者に入ることを、枯れ木については状況を確認していくとの説明でした。

8月18日（火） 産業厚生常任委員会

- 調査件名**
- 道の駅整備について
 - 農林業の振興について

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成31年12月定例会 ● 一般質問
渡邊 正俊 議員

旧幼稚園舎の今後の利用は

認定こども園の開園に伴い、現在の幼稚園舎をどのように有効活用されるのか取り壊し等も考えられているのか伺います。

活用方法を決定していきます

検討委員会を組織し、新しいコミュニティの場とする方針で協議をしてきました。年内に教育委員の方々と共に具体的な活用方法を決定していきます。

整備方針が決まりました。

文化交流複合施設(仮称)として、整備する方針が決まりました。今年度の実設計が行われ、令和3年度に改修工事を行い、令和4年度のオープンを目指します。



旧幼稚園舎

8人の議員が町政を問う

畑中 大子 P15

- ひろのてらす「イオン」の品ぞろえについて
- 道の駅建設の見直しについて
- 阿武隈南部風力発電事業について
- 小中学校の少人数学級について

門馬 巧 P16

- 広野駅前木造交流センターについて
- 行政の協定締結について
- サポカー補助金制度について

黒田 政徳 P17

- 糶広野町振興公社について

北郷 伯弘 P18

- 幼児教育について

門馬 まりえ P19

- 新型コロナウイルス感染症について
- 福祉サービスの充実について

阿部 憲一 P20

- 汚染水をどう扱うべきか
- 道の駅の計画を続けるのか
- JR運休・遅れへの対処を

小磯 利雄 P21

- インフルエンザ予防接種の無料化について
- 道の駅について
- 令和元年度決算について

渡邊 正俊 P22

- 防災拠点・道の駅ひろのの整備計画について
- 国・県への要望活動について

一般質問は、公の場である議会で、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いたすものです。

少人数学級

教室の状況は

教育長／県の基準に基づく編成

畑中 ①新型コロナウイルスへの対策として、少人数学級は有効だと思いますが、学級編成や教室等の施設の現状は、どのようになっていますか。

②少人数学級にする場合、学級編成と先生の指導体制は、どのようになると考えますか。

③特別な支援が必要な児童・生徒への対応はどのようになっていますか。

教育長

①福島県の基準に基づき、小学校1・2学年、中学校1学年では30人、他の学年では33人を基準とする学級編成を行っています。

小学校では18教室のうち計10教室、中学校では9教室のうち計4教室を使用しています。

②学級編成と教職員の指導体制については、福島県の基準により配置されます。

③小中学校で、情緒障がい、知的障がいそれぞれ1クラスを編成しています。小学校では各クラスとも教師1人、支援員1人を雇用し、中学校では各クラスとも教師1人が対応しています。

生鮮食品の充実を

ひろのてらす

畑中 ひろのてらすの品ぞろえの中に生鮮食品が少ないとの感想が多くありますが、このことを町長はどのように思いますか。調理施設を設置して生鮮食品や惣菜を置くようにすべきではありませんか。

町長／引き続き要請していく

町長 店舗内に新たに調理スペースを設けるのは困難です。いわき市内の大型店舗と町内の店舗とのネットワークを活かし、陳列スペースや商品の種類、数量等を充実に向けて引き続き要請し、対応していきます。

道の駅整備

大幅に方針転換を

町長／意見を集約して検討

畑中 ①道の駅建設の見直しについて8月30日の住民説明会ではどのような意見がありましたか。②買いたい物がほとんどないのでは立ち寄る

理由がなく、維持運営にも費用がかかり、防災拠点を置かないことを決めた時点でこの施設は無意味だと私は考えます。方針を大幅に変えるべきではありませんか。

町長

①計画通りに進めることができない、残念であることに対し、残念である旨の意見が多くあり、また、その他、希望する設置を希望する意見や二ツ沼直売所機能の充実すべきではないかといった意見も出されました。

②道の駅のあり方について、様々な意見を集約し、有難うございます。防災拠点の整備について検討していきます。

風力発電

飲料水への影響は

町長／影響は及ぼさない

畑中 ①広野町には3基が計画されていますが、山の上で工事することで影響はありませんか。資材の運搬などのために盛土が必要になるとは思いますが、土砂崩れの危険はありませんか。

②また、浅見川の水源地からの距離はどの位ありますか。広野の飲料水に影響はありませんか。

町長 ①調査を事前に行い、安全工事の実施に向け計画に基づいて実施しており、影響はありません。風車は複数の部材に分解して運び、最小限の盛り土工事を計画しています。土砂崩れが発生しないよう徹底した安全対策を講じる計画となっています。

②大船水源地から最も近い風車までの距離は約6kmあり、沈砂池等による濁水対策を講じ飲料水を取水する河川へ影響は及ぼさない計画です。



はたなか ひろこ
畑中 大子 議員



もんま たくみ 門馬 巧 議員

協定締結

件数と要した費用は

町長／就任以来50件締結

町長

就任以来50件の協定締結をしております。要した費用は、主に協定相手側へ訪問する際の旅費等で55万円です。協定締結後、建物改修改装並びに備品等の具備しているものではありません。

門馬

町長は就任以来数多くの協定締結を結んでいますが、何件締結しましたか。また、協定締結に要した費用額、協定締結後の建物改修改装並びに備品等の具備費用額はいくらですか。

木造建物

駅前交流センターの今後は

町長／継続利用断念し撤去

門馬

①広野駅前木造交流センターについては、あまり活用されていまいのが実態ですが、この建物の目的、利用実績、維持管理費はこのようになっていますか。②所期目的は達成されましたか。今後の利用の見通しはありますか。

町長

①広野駅前木造交流センターは、町民有志、大学生、役員職員から発案され、県産木材の風評被害払拭や住民帰還の促進などを目的として平成28年3月に建築されました。

利用実績人数は、平成28年から29年にかけて、学生団体と未来学園の高校生が参加し、交流の場として延べ約250人が活用し、家具づくりワークショップは、約100人の参加がありました。週末のイベントは、高校生や地元の方を含めて約200人の参加がありました。平成29年から30年は、町内の和太鼓グループや盆踊り団体約50人に活動拠点として貸し出しました。②所期の目的は達成したと考えており、仮設建築物の使用期間が平成30年3月末で終了したことで、継続利用するには耐震工事などの費用もかかることから撤去することにいたしました。

門馬

※サポカー補助金制度はスタートしたばかりで、余りよく周知浸透していません。行政で制度を精査し内容を町民に周知し、あわせて町独自の補助制度を加設し制度利用を促し町民が事故のない安穩な生活が送れるようサポートできないか伺います。

町長

サポカー補助金は、政府による65歳以上のドライバー交通事故防止対策の一環として、予防安全装置を備えた安全運転サポート車の導入や装置の設置に要する経費の一部を補助するもので、他の補助金と重複申請できない制度となっております。町は本制度の周知浸透を図るため、チラシ等を作成して制度利用促進に取り組みます。

サポカー補助金

住民への周知を

町長／利用促進に取り組み



木造交流センター

振興公社

町との関係性は

町長／協同で事業を実施

黒田

①町と広野町振興公社はどのような位置づけになっているか伺います。②バナナ事業の収支を含めた現状について伺います。③震災後の決算について伺います。④今後の展望について伺います。

町長

①現在、町は一人株主として副町長を取締役に併任し、8人の取締役と2人の監査役のもと、取締役会を通して適切な経営にあたるべく相互に情報を共有し、各種事業を協働で行っています。②広野産バナナは、定植後、順調に成長し令和元年8月に初収穫を迎えました。反響はとも良く、購入希望者やハウスの見学者が数多く来訪して頂きました。

バナナ事業の収支について、収支合計は約1200万円の赤字となっております。

事業収支計画に基づき3年計画の4年目で黒字化を目指し、支出の軽減を図っていきます。

③平成23年度は震災の影響から約1700万円の赤字、翌年以降は復興の拠点として作業従事者が施設等を利用した費用及び東京電力からの損害賠償により、平成24年度は約1320万円、平成25年度は約930万円、平成26年度は約1050万円、平成27年度は約380万円、平成28年度は2030万円、平成29年度は約910万円、平成30年度は約770万円、令和元年度は約640万円の黒字となっております。

決算内容については、毎年、会計帳簿並びに関係書類等を2人の監

査役が調査し、取締役会に適正に報告されており、取締役会で承認されています。

④ご愛顧いただいているパークゴルフ場、芝生広場、児童遊具施設、合宿施設等、積極的な誘客を図るため、新たな取り組みとなる国産バナナ栽培事業を軌道に乗せ、隣接するJヴィレッジと連携し、交流人口、関係人口の拡大を図ってまいります。

東京大学内ベンチャー企業であるアリスマリ(株)と町内の大和田測量設計(株)との連携協定の締結により、二ツ沼総合公園の資源を活用し、ドローンによる3D画像とAIを使った新しいスマート農業の実証に取り組み、農家の経営安定化にも貢献していきたいと考えています。



栽培されているバナナ

くろだ まさのり 黒田 政徳 議員



きたごう みちひろ
北郷 伯弘 議員



広野町こども園

幼児教育

町の考え方は

町長／言葉の教育が最重要

町長

幼児教育は、小学校以降における生きる力の基礎や生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で重要な役割を担っています。

「心」を育てる情操教育については、最も大切なことは言葉であり、脳科学的に見ても読書を通じて語彙を蓄えることは大変重要であるとされていることから、絵本と映像により幼児の徳性、知性、感性を育む「言葉の教育」事業について、全教職員が研修に取り組み本年度から事業に着手しました。

言葉は、知的活動の基盤であり、コミュニケーションの基盤でもあり、「言葉の教育」事業をこども園での教育にとどまることなく、こども園と小学校教育のつながりを意識した接続期の教育課程と捉え、小学校入学後の継続した事業展開に取り組んでいきます。

北郷

幼児期は、基本的な生活習慣や意欲、態度など一生に渡る人間形成の基礎を培うとても重要な時期です。

子どもというのは遊びや日常生活で毎日、様々な体験をしており、その体験を通して知的かつ情緒的に発達していきます。

また、人間として一生をより良く豊かに生きていくための基礎を身につけます。

開園から2年目となる広野こども園での幼児教育の展望について、第二次広野町教育ビジョンの中の「園、小、中が連携したつなぐ教育の推進」と合わせ、町としての考えを伺います。



楽しそうな子どもたち

コロナ対策

企業の支援の今後は

町長／更なる支援拡充を検討

門馬

①新型コロナウイルスの感染拡大がもたらす影響が長引く中で、町内中小企業者等の経営基盤の安定化を支援する上での町としての考えを伺います。

町長

①「広野町新型コロナウイルス対策中小企業者等支援事業補助金交付要綱」を策定し支援事業に着手しました。7月からは、補助対象業種について、当初の飲食業及び宿泊業からその他の業種の実態を踏まえ、企業種に拡大し対象期間を当初の2月に遡及して、中小企業者等を支援してきました。

②町は「新しい生活様式」の定着等を図るため、ポスターの作成、防災行政無線による「3密」の回避やマスクの着用などの継続的な呼びかけ、イベント等の見直し、町長メッセージを5月と9月にお届けし、町民の皆さまに感染拡大防止にご理解とご協力をいただきます。今後とも、国・県と連携し新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいきます。

協定締結の成果は

町長／個人別の回復訓練を実施

福祉サービス

門馬

①広野町地域包括ケアシステムの構築を目的に、町、医療法人社団、養高会、馬場医院、広野町社会福祉協議会の4機関による協定を締結したと思えますが、今年度から具体的にどのような体制を整えたのか伺います。

②デイサービスセンター「広桜荘」における新型コロナウイルス感染症の取り組みについて伺います。

③全国的に室内での熱中症も発生しています。高齢者の多い当町において、熱中症対策の取り組みを伺います。

町長

①社会福祉協議会の体制を新たに構築し、デイサービスセンターでは利用者の個別機能訓練計画書を作成し、個々の身体状況に即したきめ細かい機能回復訓練を実施しています。福祉サービスの質の向上を目指し、社会福祉協議会においてデイサービスセンター通所事業及び社会福祉協議会訪問介護事業の利用者を対象としたアンケート調査を実施し、当面する課題を捉え、震災から10年を経過しようとする中、高齢者福祉サービスを充実すべく体制を展望していきます。

②職員には自宅及び出勤時の検温を徹底するとともに、執務室の机にビニール製の衝立を設置するなどの感染拡大防止対策と、利用者に対する検温と体調確認を行い、入浴や食事の時間を確保し、食事の際も利用者が使用するテーブルにビニール製の衝立を設置しています。③防災行政無線を利用して毎週土曜日、日曜日、毎日午前10時にコロナ対策も含めた熱中症予防のお知らせ、広報ひろのへの熱中症予防行動の掲載、8月21日の行政区回覧における熱中症予防チラシの全戸配布、社会福祉協議会生活支援相談員による訪問の際に熱中症予防チラシの配布と呼びかけ、ひとり暮らし高齢者等が利用する緊急通報装置を活用し熱中症予防の呼びかけを実施しました。



もんま まりえ
門馬 まりえ 議員



あべ けんいち 阿部 憲一 議員

道の駅整備

道の駅の必要性は

町長／あらゆる災害を想定

阿部

①最初のボーリング5カ所の内、南北に2カ所、30m前後土を採取すると、中に極めて硬質な岩盤が確認されました。2カ所が同様ならば岩盤が面的に広がっている可能性を疑うのが自然です。当町には南北に双葉断層が走っており、弾性波検査も結果が確実とは言えず、岩盤の出現はとも想定外とは言えませんが、土取りの工事を進めず、ボーリングを追加するべきだったのであります。

町長

②今回の整備計画の変更では事業収益はなくなり、維持費だけが発生します。例えば、休憩施設内の情報スペースを二ツ沼総合公園の直売所へのサテライトとする案ですが、特売所の売り

阿部

福島第一原発の汚染水を海に放出すれば霧や雨になり、皮膚吸収もします。トリチウムは体内に入るとDNAの塩基や塩基同士を繋ぐ水素と入れ替わって遺伝情報を書き換え、DNAをバラバラにします。セラフィールド原子炉火災(英)では沿岸地域の子供の白血病の発症率が10倍ほどに増加しています。

町長

原発事故によって発生したALPS処理水の取扱いについては、国が責任を持って判断しなければなりません。関係機関の意見の聴取に当たり、風評被害が生じることがないよう、全国において国民的コンセンサスを得るべきであり、風評被害の補償及び賠償を整えて取り組んでいくことが重要であると考えます。

トリチウム水

海洋放出への考えは

町長／国が責任もって判断すべき

にどのように処理するべきと考えますか。

阿部

常磐線が強風のため運休したり大幅に遅れることが頻繁になっています。運行はインターネットで確認するか、JRに問い合わせるしかなく、利用者の多くは広野駅に着いて知る事になります。

町長

町もリアルタイムに情報を得ることは困難な状況であり、生きた情報、正確な情報を町民に届けることができません。JR側から常磐線沿線自治体に向け運行状況、ダイヤの調整等の情報が通知されることになれば、防災無線でのアナウンスも可能になります。有事の際において、安心安全を確保するために必要な情報の提供をJRに要望していきます。

予防接種

全町民に無料で実施を

町長／子どもと高齢者は無料に

小磯

インフルエンザウイルスに感染すると、全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いのが特徴です。特にコロナウイルス感染症が収束していない中、同時流行に備えた希望する町民全員に予防接種を無料で行うべきではありませんか。

町長

定期接種となっている高齢者等に対するインフルエンザワクチン約5千円の接種費用は、これまで千円の個人負担であったものを含め全額公費負担とし、併せて、乳幼児から中学生までの生徒に対する接種費用の全額を助成していきます。今年にはコロナ対策を講じ、高齢者等に対するインフルエンザワクチン定期接種時期を早め、10月1日から開始します。

道の駅整備

中止してはどうか

町長／意見集約して検討していく

小磯

①これまで5億8500万円投入、さらにレストラン・直売所・ヘリポート等防災拠点施設を中止、新たにトイレ等のみの無人施設に3億6200万円投入との説明を受けました。どうしてこのような経過・結果に至ったのか伺います。

町長

①硬質な岩盤の出現により、整備計画を見直しすることに至りました。②土質調査は定義に従い適切に実施しました。工事の工程管理に瑕疵はありません。③震災時の津波と原発事故による複合災害を受けたことにより整備を計画しました。本事業は、健全財政の範囲の中で事業を行うこととしており、事業費の使い道は適正と捉えています。責任の所在については、町長が責任を持って取り組んでいきます。④様々な方のご意見を集約し、有事の際の防災機能を備える防災エリアの整備について、検討してまいります。

元年度決算

町の財政状況は

町長／財源に十分余裕がある

小磯

①実質収支比率は35.5%が適正範囲と言われていますが、元年度の実績と、どのような対応されたのか伺います。②経常的な支出の割合が大きくなると、突発的な支出が必要になったときに弾力的な対応することができなくなってしまう。そこで元年度の実績と要因を伺います。

町長

①実質収支比率の実績は15.2%です。支出における不用額が生じないよう予算の執行率の向上に向け取り組んできました。②経常収支比率は適正範囲実績70%から80%を目標とし実績は82.8%です。超過した要因は、経常的経費が昨年度より増加していることが要因です。③公債費負担比率の実績は5.0%です。将来負担比率については、町の財源に十分余裕があることから、将来負担比率がマイナスとなるため、該当無しとなります。④職員プロパー82人、再任用職員1人、任期付職員5人、人件費605,752千円、ラスパイレス指数は99.1%となっています。



こいそ としお 小磯 利雄 議員



わたなべ まさとし 渡邊 正俊 議員

道の駅整備

振興計画との関連性は

町長／防災拠点整備を位置づけ



道の駅工事現場

渡邊

①防災拠点・道の駅ひらの整備事業の目的と必要性並びに町の振興計画との関連性について伺います。
②整備計画の見直しを、整備検討委員会及び地権者と町民の皆さんに対し説明を行いました。その結果について伺います。
③規模が縮小し、道の駅整備に、今後、数億円を超えるであろうと思われる費用を充当することに、町の考えを伺います。

町長

①第五次広野町町勢振興計画においては、地域で共に助け合う災害に強いまちづくりの推進のための施策として、地域防災拠点の整備を位置付けています。
②残念である旨の意見が多くありました。防災機能を持つ施設の整備について期待を抱いていた方が多く、ヘリポートの設置ができないことについても落胆の声があり、設置を希望する意見が多数ありました。物産交流館が

設置できなければ道の駅としての機能となり得るかといった意見や二ツ沼直売所の機能を充実すべきではないかといった意見も出されました。
③今後発生する費用は、大部分が土砂の流出を防止する費用、洪水対策における排水施設整備に要する費用となっており防災上必要な経費です。将来の維持管理費を縮減する計画としており、適正な費用であると考えます。

国県要望

復興創生への取り組みは

町長／財源確保に向け全力で

渡邊

東日本大震災から10年目を迎え、第一期復興・創生期間の最終年度として、切れ目なく安心感をもつて復興を進め、町民の生活を守る観点から、第二期復興・創生期間に向け、国・県に対し要望活動を行っていると思いますが、震災から10年を総括した今年度の要望活動の成果について伺います。

町長

生活再建については、旧緊急時避難準備区域である南相馬市、田村市、川内村と4市町村の合同要望を、本年、広野町が幹事となり取りまとめました。

新型コロナウイルス感染症の懸念がある状況下、復興道半ばとの意見を集約し、復興庁並びに原子力災害現地対策本部に対して、医療費の一部負担の免除、高速道路無料措置の継続支援やプレミアム付商品券の緊急復興経済対策に対する経済支援など、7項目にわたって重ねて強く要望しました。

大きな課題となっております。将来を担う子供たちの教育支援については、通学路の安心・安全、学力の向上、心のケアに取り組む職員加配等の継続が必要であります。課題解決に向けた、国・県からの支援をしっかりと取り付け、住民の安心・安全・生命・財産を守っていかねければなりません。町は、帰還者の生活再建、地域経済の再興など様々な課題が残されておられ、ふるさとの復興・再生は道半ばです。町民の願う真の復興が成し遂げられるまで、第二期復興・創生期間においても、復興推進体制の継続と新しい時代の町づくりに向け、中長期にわたって財源を確保するよう国・県に繰り返し要望し、全力で取り組んでいく決意です。

第3回・第4回 臨時会

7月8日に第3回臨時会を、8月3日に第4回臨時会を開きました。第3回臨時会では新型コロナウイルス対策中小企業者支援事業の対象業種追加に伴う一般会計補正予算を全会一致で可決しました。第4回臨時会では、小学校に設置するタブレット等機器の取得を始め、2件の議案と2件の補正予算を全会一致で可決しました。

タブレット

端末を購入

情報通信機器の基本的な操作の教育と、災害や感染症など有事の際にも均等な学びを保証する環境整備のため、小学校に設置するタブレット端末を購入する議案を可決しました。

取得物件

タブレットパソコン (170台)

取得金額

1040万6千円

購入先

株式会社 福島県中央計算センター

産業団地の土地を売却

造成を計画している東町産業団地の隣接地を震災、原子力事故に伴い、いわき市に避難している(有)ライジンダに事務所等の建設用地として、売却する議案を可決しました。

土地の所在

- ① 広野町大字 下北迫字東町 113番地7
- ② 広野町大字 下北迫字東町 170番地3

地目

- ① 原野
- ② 山林

処分総面積

9967.00㎡

売買価格

1495万5百円



	補正額	補正後の予算額
一般会計補正予算(第5号)	1551万円	57億9440万円
一般会計補正予算(第6号)	0円	57億9440万円
土地開発事業特別会計補正予算(第2号)	4293万円	1億6389万円
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス対策中小企業者支援事業 1551万円 ●土地開発事業特別会計及び財政調整基金繰入金 ±0円 ●東町地区産業団地売却収入 1495万円 	

議会の様子を見てみませんか？



次回の定例会は12月です

議場傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名をご記入いただくだけで傍聴できます。また、定例会一般質問等の録画映像をインターネットでも配信しています。広野町ホームページまたは、右のQRコードからアクセスできますので、ぜひご視聴ください。

広野町ホームページ
<https://www.town.hirono.fukushima.jp/>
議会映像ホームページ
<http://hirono.k-quick.net/>



議会議長や、議会の中の各委員長等から招集通知があり、開催された会議や研修の出欠状況です。
このほかにも、町が主催する式典や小・中学校の発表会、広域圏組合や双葉地方町村会が主催する式典や会議にも出席しています。

令和2年7月1日～9月30日

○:出席 ×:欠席 △:遅刻、早退 -:員外 弔:弔事 研:研修 公:公務 病:病気等

月	日	曜日	開催会議名等	議員名(議席番号順)									
				1 阿部 憲一	2 北郷 伯弘	3 遠藤 浩	4 北郷 幹夫	5 門馬 まりえ	6 畑中 大子	7 小磯 利雄	8 門馬 巧	9 渡邊 正俊	10 黒田 政徳
出席回数(回)				13	15	11	20	27	14	14	12	13	10
会議回数(回)				14	15	11	20	27	14	17	12	13	11
7	2	木	広報委員会	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-
	2	木	財政支援団体監査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	2	木	ハタゴインとの防災協定締結式	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
	3	金	財政支援団体監査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	6	月	財政支援団体監査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	8	水	令和2年第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	水	広報委員会	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-
	13	月	産業厚生常任委員会	○	○	○	○	-	-	病	○	-	-
	16	木	決算審査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	17	金	決算審査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
8	20	月	例月現金出納検査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	21	火	広野町・議会合同要望活動	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×
	3	月	令和2年第4回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	火	決算審査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	5	水	決算審査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	6	木	決算審査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	7	金	決算審査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	7	金	災害時における燃料の供給等に関する協定締結式	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-
	17	月	決算審査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
9	18	火	産業厚生常任委員会	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-
	18	火	決算審査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	19	水	総務文教常任委員会	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○
	20	木	例月現金出納検査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	21	金	決算審査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	24	月	決算審査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	25	火	決算審査講評	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	27	木	正副議長研修会	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
	28	金	(有)ライジングとの協定締結式	-	-	-	○	-	-	×	-	-	-
	4	金	議会運営委員会	-	○	-	○	-	○	○	○	-	○
9	15	火	令和2年第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	水	令和2年第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	木	令和2年第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	金	令和2年第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23	水	例月現金出納検査	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	28	月	広報委員会	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-
29	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○:賛成 ×:反対 議:議長 欠:欠席 退:退席 除:除斥 無:無記名投票
※議長は採決に加わりません。

令和2年7月 第3回臨時会

議案等番号	件名	議決月日	出席者数	表決者数	賛成	反対	議決結果	議員名(議席番号順)										
								1 阿部 憲一	2 北郷 伯弘	3 遠藤 浩	4 北郷 幹夫	5 門馬 まりえ	6 畑中 大子	7 小磯 利雄	8 門馬 巧	9 渡邊 正俊	10 黒田 政徳	
議案第53号	令和2年度広野町一般会計補正予算(第5号)	7/8	10	9	8	1	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和2年8月 第4回臨時会

議案等番号	件名	議決月日	出席者数	表決者数	賛成	反対	議決結果	議員名(議席番号順)										
								1 阿部 憲一	2 北郷 伯弘	3 遠藤 浩	4 北郷 幹夫	5 門馬 まりえ	6 畑中 大子	7 小磯 利雄	8 門馬 巧	9 渡邊 正俊	10 黒田 政徳	
議案第54号	財産の取得について	8/3	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	町有地の処分について	8/3	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	令和2年度広野町一般会計補正予算(第6号)	8/3	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和2年度広野町土地開発事業特別会計補正予算(第2号)	8/3	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和2年9月 第4回定例会

議案等番号	件名	議決月日	出席者数	表決者数	賛成	反対	議決結果	議員名(議席番号順)										
								1 阿部 憲一	2 北郷 伯弘	3 遠藤 浩	4 北郷 幹夫	5 門馬 まりえ	6 畑中 大子	7 小磯 利雄	8 門馬 巧	9 渡邊 正俊	10 黒田 政徳	
議案第58号	広野町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	9/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	広野町介護保険条例の一部を改正する条例	9/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	広野町医療環境向上基金条例を廃止する条例	9/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	財産の無償貸付けについて	9/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	令和元年度広野町一般会計歳入歳出決算認定について	9/16	10	9	9	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	令和元年度広野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/17	10	9	9	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	令和元年度広野町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/17	10	9	9	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	令和元年度広野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/17	10	9	9	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	令和元年度広野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/17	10	9	9	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	令和元年度広野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/17	10	9	8	1	原案認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	令和元年度広野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9/17	10	9	9	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号 ～ 議案第75号	令和2年度一般会計補正予算及び各6特別会計補正予算	9/18	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	東京電力福島第一原子力発電所事故で発生した放射能汚染水(アルプス処理水)の海洋放出に反対する請願書	9/18	10	9	9	0	不採択	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
発議第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	9/18	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	広野町教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	9/18	10	9	9	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

審議結果



ま ちかど インタビュー

道の駅整備事業

建設の計画見直し案はどうなる??

道の駅事業の見直し案について、新聞報道等で知らされたことは、現在の状況を町民が考えるきっかけになりました。道の駅事業に対する考えをお2人にお聞きしました。



日下 みち子さん (下北迫)

私は、当初から、町のたぐさんの予算を必要とする「道の駅」には疑問を持っていました。工事中に岩盤が出たから、さらに多くの予算がかかる「道の駅」、隣の榎葉町にもあり、広野町にはいらなないと思います。8月末の住民説明会や9月議会でも批判的な意見、

特にヘリポートを造らない事に対しての声が出たそうですから。

新聞記事で、みかんの木、桜の木を植える事等を知り、その案はとも良いと思います。

みかんが成熟したら、「ミカン狩り」ができるようになりますれば、収入にもつながるのでは、と考えました。出来上がってからの管理にもお金がかかるし、そこが皆の訪れる場所になるように工夫してほしいです。町の予算は、むだ使いと言われたいように大切に使うて頂きたいと切に願います。



阿部 千恵子さん (上北迫)

最初は道の駅ができるのはいいと思いましたが、岩盤が出て撤去するには、予算がたかさんいると聞いて、道の駅は必要だろうか考えるようになりました。

現在、出された案では道の駅にはならず、みかんの木や桜の木を植え、トイレや休憩所等を置くそうなので、良い計画だと思います。高台の個所には、ベンチ等を置いて海が見えるようにするのはどうでしょうか。マイナスイメージの岩盤を利用することも考えた方がよいと思います。

編集後記

今年の野菜作りの講習会に参加しましたが、例年続いてきた空梅雨は姿を消し、7月は気温の変動や長雨が続き湿度100%の日が半月もあり、8月に入ると雨が殆ど降らず農家や家庭菜園では対応に苦慮しました。その理由として植物は「根によって養分を土の中で水と共に吸収する」ので雨が降らないと元肥として施した肥料の中の成分が根から吸収されず葉先が枯れるなどの障害が発生して収量はともより品質も大きく損ねる結果となりました。結果を踏まえて今後の対策としては、長期予報の確認や植え付け時期の変更なども視野に入れて、関係機関の指導を受けて、安全で新鮮な野菜を作つて食べて健康増進を図りましょう。

(北郷 伯弘)



暑さを乗り越えた茄子の花

次の定例会は12月です

- 発行・編集責任者 議長 北郷幹夫
- 広報委員会 委員長 阿部憲一
- 委員長 渡邊正俊
- 委員 小磯利雄
- 委員 畑中大子
- 委員 北郷伯弘